

## 蚕のからだ

蚕児のどちらの端が頭であるか言い当てるのは、難しい場合がある。実際には、口のように見える黒い部分が頭で、最も頭のように見える部分は胸部（胸）である。蚕の体の側面に沿って、目の形をした柄が見られる。これは実のところ、体を大きく見せ、捕食者を寄せつけない効果がある。

蚕の脚（合計 16 本の脚）は、胸部に繋がる 3 対の脚と、腹部に繋がる 5 対の「偽の」脚で構成される。蚕は成長過程において、4 つの異なる段階で構成される。卵、幼虫、さなぎ、蛾である。蚕児は 4 回脱皮し、その後、さなぎから蛾になるための繭を作る。変態が完了すると、胸部の 3 対の脚のみが残る。